

## 静岡県立こども病院清掃業務仕様書

### 1 業務目的

業務については、病院環境を清潔に保持し、患者や従事職員に快適で衛生的な生活環境および作業環境を提供することによって、医療上その他の機能が十分に発揮されることを目的とする。

よって、病院全体を立体的に清掃するとともに、廃棄物の処理等について、適切な衛生環境が保持できるよう心がけねばならない。

### 2 従事者

委託業務に従事する作業員については、概要を契約書第7条によるものとし、当院における適正人数は最低27名とする（左記作業員は当院専任の常勤者であること。）。

また、当院専任の作業員を変更する場合、甲の事前の承認を得た上で変更しなければならない。その際、毎日の清掃業務に質の低下を招かぬようにしなければならず、新規採用の作業員に対しても、十分な指導及び教育を行わなければならない。

なお、年度当初から又は年度途中で清掃委託業者が変更になった場合等で、業者変更当初の業務開発時作業員から現地採用の作業員へ変更する場合については、著しい質の低下が予想されるため、交代した作業員に対し受託者の経費において実施する十分な業務研修及び当院清掃業務への習熟を確認の後、配属部門の関係セクション長及び事務管理部門の責任者の書面による承認（様式任意）を得た上で、業務開発時作業員が当院清掃現場から離れることを認めるものとする。

その他の作業員変更及び当院清掃現場内での配置転換についても、交代した作業員に対し、乙の経費において実施する十分な業務研修及び当院清掃業務への習熟を確認の後、配属部門の関係セクション長の承認が得られるまでは、前任者若しくは9の(5)に定める教育担当者が一緒について清掃を行わなければならない。その場合の研修及び習熟期間は少なくとも勤務日数で14日以上設けるものとする。

### 3 業務区分

清掃は、日常清掃（廃棄物回収、運搬を含む）及び定期清掃とする。

#### (1) 日常清掃

① 土、日曜・祝日は救急センター及び病棟の清掃並びに廃棄物の回収、運搬のみの実施（仕様書により土日祝日も実施箇所となっている場合は除く。）とするが、それ以外の曜日については、この仕様書に特に定めがない限り毎日清掃すること。

② 清掃作業時間は、原則、午前7時30分から午後4時までとする。

なお、清掃箇所によっては、「作業対象箇所一覧表」備考欄に指定があるので、それによること。

③ 作業は、甲の業務に支障がないよう注意すること。

④ 明らかに汚れが目立つもの（病院職員及び現場責任者等清掃作業員の発見によるもの等）については、本仕様書及び別紙「作業対象箇所一覧表」に定める清掃回数にかかわらず早急に必要な清掃を行うこと。

#### (2) 定期清掃

① 甲の業務に支障のない日（土、日曜、祝日を含む。）に行うこと。

② 清掃作業時間は日常清掃に準ずるものとする。

#### 4 清掃仕様

- ・ 清掃の実施にあたっては、清掃箇所にもっとも適した器材、材料を検討の上行うこととし、特に指定の病棟については、その作業方法（用具の専用化、指定薬剤の使用等）について、甲の指示に従うこと。
- ・ 清掃に使用する器具については衛生状態に常に注意し、特にモップ類については、洗剤または消毒薬で毎日洗浄を行うこと。
- ・ 清掃器具等による衝撃または湿気等で機械設備等を損傷、又はコードを脱落させることなどのないよう十分注意すること。
- ・ 清掃にあたり移動させた什器類は、作業後元の位置に戻すこと。
- ・ 作業員が欠勤した場合には、必ず交替要員を派遣し作業に支障のないようにすること。
- ・ 洗剤等の清掃用具置き忘れ防止のため、①容器にひも付きリードをつける②持ち込み物確認表を作成し病棟を出るときに再度確認をする等の対策をとること。

##### (1) 日常清掃

###### ① 玄関出入り口周辺

この場所は来院者が最初に接するところであり、その清掃は病院全体の品格にかかわるので、作業は特に念入りに行うこと。

ア 土砂を掃きとり、泥等の汚れは水絞りモップで拭き取ること。汚れの甚だしい部分は殺菌剤入り洗剤を用いて汚れを取り除くこと。

イ くもの巣及び昆虫の死がい等が見られる場合は、速やかに除去すること。

ウ マット等は、汚れが付着しないよう定期的に清掃しておくこと。

エ 出入り口近辺のガラスについては、付着した手垢等の汚れを拭き取り、良好な状態に保持すること。

オ 雨天、降雪等により床が滑りやすい場合は、頻繁に水の拭き取りを行い安全の確保を図ること。

###### ② ホールおよび階段等（除塵、除菌の両面から実施すること。）

###### ア 床面

自在ほうきで掃いた後、モップで丁寧に拭き上げ、汚れが深く染み込む前に綺麗に取り去ること。

ただし、外観上汚れているところは、水絞りモップ又は除菌剤配合洗剤希釈液を侵漬させたモップで拭き、又は床磨き機により汚れを除去すること。

なお、床磨き機による洗浄作業、及び床面ワックス塗布作業を行う時は、作業区域をロープ、作業表示板等で仕切るなどの事故防止策を講じること。

###### イ 机、椅子及びカウンター

院内各所に配置している来院者用机及び椅子について毎日清拭を行うこと。また、検査受付及び放射線受付のカウンターについても毎日清拭を行うこと。

###### ウ 手摺り等の清掃

階段の手摺り、ドアノブ、及び電灯のスイッチ等は最も人手の触れるところであるから、殺菌剤入りダスターで丁寧に清拭すること。

エ 柱や周囲の壁面等

頻回に行う必要はないが、定期的な清拭（年４回以上）及び汚染時等必要に応じ清拭を行うこと。

オ 天吊り看板の清掃

院内各所に設置されている天吊り看板上のほこりについて、年２回清掃を行うこと。

カ プランターボックス内の清掃（月１回実施）

外来ロビー（１、２階）及び仮泊ロビーに設置されているプランターボックスについて、内面の汚れがないように月１回清拭を行うこと。

キ パンフレットスタンドの清掃

外来ロビーや地域医療連携室前等に設置されているパンフレットスタンドについて、ダスターで埃を拭き取ること。

③ トイレ、湯沸かし室及び浴室

ア トイレの清掃時には、トイレットペーパー、ペーパータオル及び手洗い用水石鹸等の消耗品の補給を併せて行うこと。

イ 便器等の汚れは、トイレクリーナーを使用して内側の隠れた部分まで洗浄するとともに、尿石付着部分については、尿石除去剤を使用すること。

また、塩素等の薬品使用はなるべく避けることとするが、ノロウイルス等の感染対策上必要と認められる場合は甲の指示に従うこと。

ウ 温水洗浄便座については、ノズルの洗浄を行うこと。

エ フラッシュバルブ等の金属部分は、から拭きまたは洗剤液を使用して拭くこと。

オ 手摺り、ドアノブ等は殺菌剤入りダスターで丁寧に清拭すること。

カ 衛生陶器は、水又はアルカリ性洗剤で洗浄後、除菌清拭すること。

キ 床及び腰壁は、除塵後、除菌剤配合洗剤希釈液を侵漬させたモップ又は雑巾を固く絞って清拭すること。

ク トイレの汚物容器内の汚物は搬出処理すること。

ケ トイレ清掃の作業中は、入口に作業中の看板等を設置すること。

コ 湯沸かし室の茶殻、食物残渣等は取り捨てること。

サ 浴室については、脱衣を含め常に清潔に保つようにし、排水口、タイル目地の汚れ、浴槽等の湯垢、金属類の清掃に至るまで漏れなく行うものとし、カビの発生には十分留意すること。

④ エレベーターの清掃

ア 床面は、②のアに準じて行うこと。

イ 扉及び機内の壁の汚れは、除菌剤配合洗剤希釈液を侵漬させたクロスで清拭する。

ウ 操作盤等は、除菌剤配合洗剤希釈液を侵漬させた雑巾等を固く絞って清拭した後、から拭きすること。

⑤ 病棟

病棟は、患者の生活の場であることから、特に清潔の保持に注意するとともに、患者の容態、看護の状況に応じて行うものとする。

ただし、以下については共通事項として取り扱い、作業を行うこと。

ア 床面はモップでていねいに拭き汚れを取り去ること。また、外観上汚れているところは、水絞りモップ又は除菌剤配合洗剤希釈液を侵漬させたモップで拭いたあと十分乾燥させること。

また、清潔区域（NICU、GCU、ICU、HCU、CCU、手術室、隔離を必要とする部屋等）以外については原則的に消毒剤入りの溶液を使用しないこと。

イ 病棟内各室のごみ箱から廃棄物を回収し各階所定の場所に集積すること。

朝と夕の2回実施すること。

回収時には必ずビニール手袋を装着し、直接ゴミを掴むことがないように、ゴミ袋や箱ごと回収すること。

ウ 病棟入り口、ナースステーションのガラスにつき、手垢等の汚れは清拭すること。

エ ナースステーションのカウンター、プレイルームの棚、備品類（テレビ、棚、机、椅子、パソコン裏等）についても毎日清拭を行いほこりがないようにすること。

オ ベッドの下あるいは医療器械等が設置されている箇所についても、現場看護師あるいは看護助手の指示を仰ぎ、実施できるところは必ず実施すること。

カ 病棟内各室のドア、窓台（窓の棧）、手摺り、流し台、衛生陶器類（汚物槽含む）の清掃、金属磨き、浴室の清掃についても毎日実施すること。

キ 患者退院時には、前述のほか床頭台の上、メディカルコンソール、照明設備についても清掃を行うこと。

なお、退院清掃は入院患者受入れに支障がないよう、病棟から依頼を受けたら迅速に対応すること。

ク 天吊のモニター等の高所にある備品の除塵等は、高所用の清掃用具を用いてこれを行い、手の届かない範囲に埃が積っているという状況が無いようにすること。

ケ 窓に結露が見られる場合は、速やかにふき取りを行うこと。特に冬季は毎日行うこと。

コ クッションフロアの清掃についても毎日実施し、月に一度洗浄を行うこと。

サ 病棟内のブラインドについては、清拭等の方法により除塵を行うこと。

シ 空調の給排気口については、定期清掃以外も汚れやホコリの付着が目立つ場合、病棟から指示があった場合は随時清掃すること。

ス 仕様書に定められている清掃を、作業員の判断で省略しないこと。

なお、やむを得ない事情で清掃が行えなかった場合、速やかに現場病棟師長又は主任看護師に連絡し、その指示を仰ぐこと。

#### ⑤ー2 東館2病棟（精神科病棟）

東館2病棟の清掃については、前記のほか下記に従い行うこと。

ア 日常清掃は2人一組で実施すること。また、清掃作業員は固定した者とする。

イ 閉鎖病棟については必ず看護師が付添うのでその指示に従うこと。

ウ 開放病棟についても原則看護師が付添うが、付添えないことがあるのでその場合は病棟看護師の指示に従うこと。

エ 日常清掃は、毎日午前8時から午前11時30分までに行うこと。

ただし、閉鎖病棟内のトイレについて、午前と午後1回ずつ清掃を行うこと。

なお、看護師が付添う都合上、開放、閉鎖とも毎日指定の時間とすること。

オ 4 箇所ある風呂清掃について毎日時間を固定して行うこと。

また、風呂清掃が終わったらお湯張りを行うこと。

カ 清掃中物を動かした場合は必ず元あった場所に戻すこと。

なお、必要により事前に写真撮影を行うなど対策を講じること。

キ 開放病棟と閉鎖病棟とでは、定期清掃の日をずらすこと。

#### ⑥ 廊下の清掃

西館玄関から北館エレベーターホールに至る廊下については、清掃の間隔を 2 日以上空けることのないようにすること。

#### ⑦ 建物外周の清掃

建物の美観を損ねないように毎日、病院敷地内の緑地、外来駐車場、通路、側溝、北館及び西館ピロティ部分の、紙屑、空き缶、落ち葉等の回収を行うこととし、側溝のごみ、落ち葉等の回収も行うこと。また、特にバス停周辺は丁寧に行うこと。

#### ⑧ 廃棄物処理の方法

ア 各階に配置してあるごみ排出箇所からごみを回収し、甲の指定した廃棄物集積所に運搬し、甲の指示する分類及び方法にしたがって区分けすること。

なお、病院から廃棄物集積所への運搬にあたっては、受託者の経費にて用意する軽貨物車等の車両を用い、安全な運搬を心掛けること。

イ 集積所に区分け及び保管したごみは、それぞれの処分業者に引き渡すこと。

ウ 病棟内の廃棄物については、感染性廃棄物が含まれ、慎重な取扱いが必要であるから、安全確保に十分注意の上、速やかにごみ集積所に搬出すること。

また、この業務にあたる作業員には十分な感染性廃棄物に対する教育を行い、甲がその教育の内容、感染性廃棄物の意味、処理方法及び注意事項等について随時に質問した場合、作業員は明確に回答が出来なければならない。

エ 廃棄物の処理にあたっては、病院内に散乱させないよう十分衛生に注意して清潔を保持すること。

オ 感染性廃棄物の入ったごみ袋・容器は、甲の許可なく開封しないこと。

カ ごみの回収、運搬等の作業に際しては、必ず耐貫通性の手袋を着用すること。また、必要に応じてマスクの着用等必要な措置をとること。

キ 北館及び西館については、基本的にダムウェーター（小荷物専用昇降機）を利用したごみの回収・運搬となるため、以下の時間帯については、北館 1 階及び西館 1 階ごみ集積室に各々清掃作業員を常駐又は巡回させること。

また、上記ごみ集積室は、使用する時以外は必ず施錠を行うこと。

《駐在》

午前 8 時から午前 9 時まで（平日・土日祝日とも）

午後 2 時から午後 3 時まで（平日のみ）

《巡回》

午前 8 時から午後 4 時までのうち、上記駐在時間を除き、1 時間に 1 回以上（平日）

午前 8 時から正午までのうち、上記駐在時間を除き、1 時間に 1 回以上（土日祝日）

ク 廃棄物集積所内の感染・非感染の廃棄物の分別配置は、厳重に行うものとし、原則作業員を常駐させるものとする。また、やむを得ず廃棄物集積場内に作業員がいなくなる場合は、必ず施錠するものとする。

ケ 一日の作業終了後は、必ず廃棄物集積場各所の施錠を行うこと。

#### ⑨ 血液、体液等の付着時の清掃

汚物、血液等の湿性生体物質で汚染された床等を発見したときは、原則として手袋を着用し、乾いたペーパータオルで拭き取り、使用したペーパータオル等は感染性廃棄物として廃棄する等速やかに適切な処置をとること。

なお、汚物、血液などは感染性のものである恐れがあるため、速やかに病院職員の指示を仰ぎ、院内感染対策マニュアルに沿った適切な消毒措置を行う必要があること。

#### ⑩ 清掃区域の設定

院内清浄レベルによる清掃区域の設定（ゾーニング）は以下のとおりであり、これらの区域で使用する用具一式は専用とし、他の区域の用具と区別するため、カラーリング等を施すこと。

ア 清潔区域：手術室、中央材料滅菌室、北2病棟、北3病棟（HCUのみ）、ICU、HCU、CCU、MF ICU、分娩手術室、無菌製剤室、特殊病室（北5病棟クリーンルーム）、ハイブリッド血管撮影室

イ 準清潔区域：一般病棟（北3病棟（HCUを除く）、北4病棟、北5病棟、西2病棟（MF ICU、分娩手術室を除く）、西3病棟、西6病棟、診察室、処置室、調剤室、厨房、検査室、放射線科、待合室

ウ 一般区域：事務室、看護部、院長室、会議室、医局、一般食堂等

エ 汚染拡散防止区域：感染症病室として使用した場合（北館4病棟）、剖検室、中央材料室（汚染物処理区域）、細菌検査室

オ 汚染区域：トイレ、浴室、汚物処理室、洗面所、洗濯仕分け室

#### ⑪ ゴミの収集

病棟以外のゴミの回収は、必要に応じて随時収集すること。

ただし、JK棟3階の面談室、心理検査室、心理遊戯室、心理治療室については、午前中に収集すること。

#### ⑫ コアラの家・家族宿泊室の清掃

防災センターからの連絡により、利用者退出時に部屋の清掃を行うこと。

### (2) 定期清掃

#### ① 床面洗浄、ワックス掛け、カーペット、マット洗浄

作業頻度は別紙「作業対象箇所一覧表」によること。

なお、定期清掃の際に甲から指示が合った場合は、高所及び医療機器類の裏側の除塵についてあわせて実施すること。また、はく離清掃の指示があった場合には、年間5回もしくは30㎡を限度としてこれを実施すること。

ワックスは、床の状態により、ドライ、ウェットを使い分けて行うこと。

#### ② 空調給排気口の清掃（年3回実施）

北館及び西館の病棟内の空調設備の給気口及び排気口に付着するほこりを、掃除機による吸引

又は洗浄により除塵すること。

なお、実施時期については甲乙協議の上決定するものとする。また、病棟外であっても埃が目立つ箇所がある場合は、甲の指示により同様の清掃を実施すること。

③ 網戸、ガラス清掃（年2回実施）

清掃の実施時期については甲、乙協議の上決定するものとする。

なお、ブラインドについても併せて埃のふき取りを行うこと。

④ 患者家族宿泊施設(コアラの家)のハウスクリーニング（年2回実施）

部屋全体のハウスクリーニング及び家電製品等の清掃（冷蔵庫、レンジの庫内清掃、エアコンのフィルター清掃、洗濯機の槽内清掃、掃除機の紙パック交換を含む。）を行うものとする。

⑤ 手術室清掃

原則、毎月第3土曜日に実施すること。

また、手術室は清潔区域であることを考慮し、床だけでなく手術室の裏廊下や扉、各電灯のスイッチ、棚の上部や取っ手等も清掃すること。

手術室内のフィルター清掃も実施すること。

なお、場合によっては緊急手術等があるので、実施に当っては必ず甲の指示に従うこと。

⑥ 中央滅菌材料室

中央滅菌材料室は、清潔区域であることを考慮した清掃であること。

滅菌した診療材料が保管されているため、濡れた手・物、不潔なものが触れることがないように注意すること。

⑦ 分娩手術室滅菌清掃

分娩手術室は清潔区域であることを考慮した清掃であること。

なお、作業は平日の午後4時から午後5時の間に行うこと。

⑧ 北5病棟 無菌病室(1)(2)

無菌病室は清潔区域であることを考慮した清掃であること。

⑨ 北5病棟 風呂場（月1回）

風呂場のカビとり作業を行うこと。

なお、実施時期については甲の指示によること。

⑩ ベランダ、非常階段等清掃（年2回実施）

管理棟、北館、西館のベランダ、非常階段及び西館外周（ピロティ、厨房搬入口）の清掃、クモの巣の除去（クモは捕殺すること）及び鳥の糞除去を行うこと。

西館塔屋2階設備スペースの鳥の糞除去を行うこと。

また、その際には窓台及びベランダについては水洗いを含めた掃除を行うこと。

なお、実施時期については甲の指示によること。

⑪ その他

院内各所にある蛍光灯のかさについては年2回清掃すること。

## 5 殺菌消毒業務

### (1) 実施計画

乙は、殺菌消毒業務の実施方法、実施時期、使用薬剤等について事前に甲の担当者と打合せを行い、甲の業務に支障のない方法、時期、薬剤等を選定すること。

### (2) 立会（契約書第 12 条関連）

乙は、殺菌消毒を行う前に甲の担当者に連絡し、立会の指示があれば必ず立会を受け、殺菌消毒が終了した場合には甲の担当者の立会を受けるものとする。

### (3) 殺菌消毒場所および回数

委託業務の対象となる場所及び回数は、別表殺菌消毒実施予定表のとおりとする。

### (4) 業務内容

業務内容は次のとおりとする。

#### ① 殺菌消毒 1

手術室等の床、壁、天井、手術台、无影灯等の清拭

#### ② 殺菌消毒 2

- ・手術室等の床、手術台、无影灯等の清拭
- ・手術室の殺菌消毒は平日の午後 4 時から午後 5 時の間に行うこと。作業は 4 名で 1 部屋ずつ実施する（1 部屋につき 10 分程度とする）。
- ・午後 5 時までに手術の終了していない手術室、当日手術を行っていない手術室については、殺菌消毒を実施する必要はない。

#### ③ 殺菌消毒 3

- ・北 5 病棟無菌病室のトイレ、洗面台等の清拭
- ・患者が北 5 病棟無菌病室に入院している期間中、日常清掃と併せて実施すること。

#### ④ 殺菌消毒 4

- ・感染症患者使用後の病室の床、壁、窓、電気等の清拭
- ・カーテンの取りはずし、設置
- ・日常清掃と併せて実施すること。

### (5) 使用薬剤

殺菌消毒 1 2：原則としてテゴ希釈液（0.05%）を使用することとする。

殺菌消毒 3：北 5 病棟で準備してある薬剤（ショウドック）を使用すること。

殺菌消毒 4：次亜塩素酸ナトリウム（塩素系）を使用することとする。

### (6) 作業手順

消毒業務の手順は次のとおりとする。ただし、作業場所の実情あるいは甲の要請に応じ、消毒業務の目的を逸脱しない範囲でその内容を変更できるものとする。

- ① 作業対象箇所にある機器類に十分に気を付けながら作業する。
- ② 部屋に固定され移動できない機器類で、水分に弱いものなどはビニールシートで養生を行う。
- ③ 指定薬品を用いて、清拭を行う。

### (7) 業務のやり直し

業務実施後、甲が検査した結果、殺菌消毒が不十分であることが判明した場合、乙は甲と協議



の上直ちに業務のやり直しを行わねばならない。なお、この際の費用は全て乙が負担するものとする。

#### (8) その他

- ①各現場の入室に当たっては、病院備えつけの指定衣服に着替え、手及び指を洗浄し、清潔区域の確保に努めること。また、服装等で甲から指示があった場合は直ちにこれに従わねばならない。
- ②緊急手術の場合には、手術に影響を与えない範囲の殺菌消毒を行うことができる。ただし、現場看護師等の指示に必ず従うものとする。
- ③必要に応じて甲・乙双方の責任者による殺菌消毒についての検討会を行うこと。
- ④工事その他の理由により契約回数の範囲内で殺菌消毒の日程・場所等を変更する場合がある。その場合、甲乙双方の責任者により事前に協議のうえ行うものとする。

#### 6 費用負担（甲の負担分）

次のものは病院側で負担するが、所定場所における設置、交換を実施するにあたっては、その受渡し、保管及び使用状況について責任を持ってこれを管理すること。

トイレットペーパー、ペーパータオル、水石鹸、所定のごみ容器、ごみ袋及び業務に使用する光熱費、その他これらに類するもので甲が必要と認めたもの。

#### 7 服務規律等

- (1) 従業員の服装は、契約書第7条第4項のとおりとする。
- (2) 規律については、契約書第7条第5項のとおりとする。
- (3) 乙は、従業員の健康管理に十分注意し、院内の衛生管理を心掛けるとともに、従業員に対して、院内での作業における感染防止対策などの必要な教育及び予防的措置を行うこと。
- (4) 定期健康診断については、契約書第34条のとおりとする。

#### 8 現場責任者等

- (1) 概要は、契約書第6条のとおりとし、当院における業務は下記①から③のとおりとする。

なお、毎日の清掃業務には、現場責任者又は副現場責任者のいずれかが必ず出勤するものとし、かつ院内PHSを所持するものとする。

- ① 乙の従業員の指揮監督
- ② 契約業務履行に関する甲との連絡及び調整
- ③ 甲からの仕様書に基づく注文事項の受任および仕様書外の特別発注事項の承諾

- (2) 現場責任者等は、医療法施行規則第9条の15の第1号に定める受託業務の責任者であり、病院の清掃に関連した知識、経験を有する者でなくてはならない。

従って、当院における現場責任者及び副現場責任者については、契約書第6条第3項に定めるほか、甲が必要と認める講習を受講し、かつ平成20年度以降に200床以上の病院における清掃業務2年以上の勤務実績があり、態度が良好で、かつ誠実に履行した経験のあるものでなければならない。

なお、甲は乙の現場責任者等に対し、随時に病院清掃において必要とされる知識、技術等について質問などのテストをすることができ、これに不合格となった者は責任者としての資格がないものと見做し、乙に対して速やかな人員配置の変更等を求めることができるものとする。

- (3) 現場責任者等は、毎月25日までに、翌月の定期清掃の予定表及び当月のクレーム処理状況につい

て、書面にして甲に提出すること。

また、契約書第 10 条第 1 項による業務日報を作成し、午前 8 時 30 分前後に甲（当院事務部総務室管理担当者）まで提出し、清掃作業終了時にはその旨前記担当まで報告すること。

なお、早急に報告すべき特記事項については、上記にかかわらず速やかに甲（前記担当）まで報告し、指示等を受けること。

(4) クレーム処理及び特別清掃の依頼は、原則として現場責任者等を通じて行うので、早急に対応できるよう、現場責任者等は特定の担当清掃箇所を持たず、巡回点検を中心とした業務を行うようにすること。

(5) 乙は、清掃業務を遂行する上での資質向上のため、教育担当者を設け、従事者の指導及び教育にあたらなければならない。なお、教育担当者は病院清掃一般のみならず、当院の清掃業務について精通していなければならない。

## 9 作業手順書の作成及び提出

乙は、本契約成立後、甲の指示により各作業箇所の作業手順書を作成し、提出すること。

## 10 清掃打合せ及び院内ラウンドの実施

定期の会合については契約書第 12 条各項に定めるが、当院においては原則毎月第 4 水曜日の午後 4 時から甲、乙双方の責任者により行い、この仕様書の補完を行なう。

なお、本会合には、現場責任者等だけでなく、乙の業務責任者を必ず出席させること。

また、こども病院清掃担当者及び感染対策室看護師が月に 1 回実施する院内ラウンドに、現場責任者及び乙の業務責任者が立会うこと。

## 11 その他

(1) 本契約成立後、契約書に定めるもののほか、速やかに現場責任者、副現場責任者、教育担当者及び従事者の履歴書、並びに従事者に対する研修計画書（研修実施時期、研修時間数、研修内容、研修実施場所、指導にあたる者の有する資格等が具体的に分かるもの）を提出すること。

なお、履歴書及び健康診断結果等の個人情報を含む書類の提出にあたっては、本人の同意を得た上で提出すること。

(2) 本仕様書及び作業対象箇所一覧表に定める内容に満たない作業を行った場合、最低作業人員が確保できない場合、現場での事故、患者等とのトラブル、感染予防の不徹底及び不適切な廃棄物処理等があった場合には、契約解除となることがある。

(3) この仕様書に示されていない細部の事項については、乙は甲と協議し、その指示を受けて現場の状況に応じ誠意をもって行うこと。

## 12 作業対象箇所及び清掃期間の変更等に関する留意事項

別紙「作業対象箇所一覧表」において、作業対象箇所、頻度等の実施期間を示しているが、契約の期間中においては、工事及び改修に伴う部署の移転が予定されていることから、別紙「作業対象箇所一覧表」に係わらず作業対象箇所、頻度等が変わることがあるので、その場合は甲の指示に従った清掃を行うこと。

仕様書③別表

殺菌消毒実施予定表

(平成 27 年 10 月から平成 30 年 9 月まで)

セクション	部屋名	面積	殺菌消毒 1	殺菌消毒 2
			年間回数	
手術室	手術室No.1	63.90 m <sup>2</sup>	12	244
	手術室No.2	63.90 m <sup>2</sup>	12	244
	手術室No.3	64.28 m <sup>2</sup>	12	244
	内視鏡手術室	96.08 m <sup>2</sup>	12	244
	高機能手術室No.1	115.13 m <sup>2</sup>	12	244
	高機能手術室No.2	86.25 m <sup>2</sup>	12	244
	ハイブリッド血管撮影室	67.69 m <sup>2</sup>	12	244
西 2 病棟	分娩手術室	56.06 m <sup>2</sup>	12	50

セクション	部屋名	面積	殺菌消毒 3	
北 5 病棟	無菌病室(1)	12.18 m <sup>2</sup>	患者入室時に日常 清掃と併せて実施	
	無菌病室(2)	12.18 m <sup>2</sup>	患者入室時に日常 清掃と併せて実施	

	部屋		殺菌消毒 4 年間回数	
	感染症患者使用後 の病室		120	